

鬼斬り若様 (1955)

メディア 映画

ジャンル

製作国 日本

色彩 B&W

初公開日 1955/04/19

【解説】

村上元三の『松平長七郎江戸日記』の中の一編『風流編笠節』をもとに、犬塚稔が脚色し安田公義が監督した時代劇。市川雷蔵が事件を解決する白面の貴公子に扮している。

将軍のいところである松平長七郎は大名にはならず、護衛役の三宅宅兵衛と田村右平次、スリのおれんとその子分たちとともに、気ままな浪人生活を送っていた。一方、旗本奴蜻蛉組の頭領の跡見八郎太は、大老の権力を笠にきてやりたい放題。おれんが八郎太から盗んだ財布から、恋に破れた大老が百合の局を斬るよう命じた密書を発見した長七郎は、彼女を救うため箱根へ。蜻蛉組は百合と長七郎を殺すため、そしておれんとその子分たちは長七郎を助けるため、それぞれ箱根に向かうのだった。

【クレジット】

監督 安田公義

製作 酒井箴

企画 浅井昭三郎

原作 村上元三

脚本 犬塚稔

撮影 今井ひろし

美術 西岡善信

音楽 上原げんと

出演 市川雷蔵

八潮悠子

神楽坂はん子

水戸光子

岡譲司